



# 2023年 KECセミナー

## 『ネイチャーポジティブ』

～2030年までに生物多様性の状態を回復軌道に乗せる世界目標達成に向けて～

生物多様性の損失を食い止め、回復させていくことを意味する「ネイチャーポジティブ」という概念はビジネスを継続していく上で急速に重要性を増しています。「ネイチャーポジティブ」の達成には政府、企業の取り組みが不可欠です。今回のセミナーでは、この概念に対する世界及び日本の動向、企業に求められること、個人にできることなどについて、各分野の第一線でご活躍の方を講師にお迎えし、ご講演いただきます。

<b>日時</b>	<b>2023年7月7日[金]</b> 13:00～17:00	<b>開催場所</b>	<b>Zoomによるオンライン</b> (全国どこからでも参加可能)
<b>主催</b>	一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター	<b>参加費</b>	<b>無料</b>

### プログラム

<b>13:00</b>	開催の挨拶 KECセミナー企画ワーキンググループ	主査 佐藤 和郎
<b>13:05</b> ～ <b>14:05</b>	<b>[基調講演]</b> <b>2025年までに準備したいネイチャーポジティブエコノミー</b> ～ビジネスと生物多様性～ PwCコンサルティング合同会社 テクノロジーデジタルコンサルティング事業部	シニアマネージャー 服部 徹 氏
ビジネスにおける生物多様性は、気候変動と共に、今すぐ取り組むべき重要な地球環境問題(サステナビリティのテーマ)である。2023年よりTCFD同様に、本格的にリスクのアセスメント(TNFD)がはじまり、2025年までにネイチャーポジティブエコノミーへ向けた準備が望まれている。」		
<b>14:10</b> ～ <b>15:00</b>	<b>ネイチャーポジティブ経済に向けたNECの取組み</b> NEC サステナビリティ推進部	プロフェッショナル 金成 かほる 氏
満を持して、世界がネイチャーポジティブを目指し動き出した。NECはICT企業としてこのグローバル課題に貢献すべく取組んでいる。自社の活動内容や、経験からの学びを紹介する。		
----- 休憩 (15分) -----		
<b>15:15</b> ～ <b>16:05</b>	<b>生態系に配慮されたバイオマス原料への転換の取組み</b> ～セルロースファイバー「kinari」開発～ パナソニック ホールディングス株式会社 マニュファクチャリングイノベーション本部 生産・環境技術研究所	部長 名木野 俊文 氏
世界的に注目され経済活動の重要な指針となる「ネイチャーポジティブ」において、原料調達においても、生態系への影響回避が強く求められるようになる。そこで、植物由来かつ植物廃材なども活用できるバイオマス原料であるセルロースに着目し、環境負荷の小さい軽くて強いセルロースファイバー成形材料「kinari」の開発、導入実績など紹介する。		
<b>16:10</b> ～ <b>17:00</b>	<b>生物多様性ビッグデータを活用したネイチャーポジティブの実現</b> ～TNFDに対応した事業戦略の立案～ 琉球大学 理学部 海洋自然科学科	教授 久保田 康裕 氏
自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)の発足により、個々の企業は事業活動における自然関連のリスクと機会を把握し、それらの情報を開示することになる。本講演では、生物多様性ビッグデータとAIの活用に基づいて、TNFDに沿った情報開示とネイチャーポジティブに向けた事業戦略の立案プロセスを解説する。		

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

<b>後援(予定)</b>	近畿経済産業局 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)関西支部 地方独立行政法人大阪産業技術研究所
<b>協賛(予定)</b>	一般社団法人大阪府技術協会 センシング技術応用研究会 公益社団法人日本表面真空学会 関西支部 ニューセラミックス懇話会 新無機膜研究会 株式会社島津製作所 パナソニックホールディングス株式会社 ホシデン株式会社 株式会社村田製作所

問い合わせ先  
一般社団法人KEC関西電子工業振興センター  
専門委員会推進部 事務局 内橋 健二

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2  
TEL 0774-29-9041/FAX 0774-93-4564  
E-mail publication01@kec.jp